

「第19回川崎国際環境技術展」開催！～130者超が集結、環境技術から新たな共創へ～ 【同時開催】「川崎国際環境フォーラム 2026」

川崎市は、脱炭素社会の実現と持続可能な経済成長の両立に向け、令和8年11月11日（水）、12日（木）の2日間、カルッツかわさきで「第19回川崎国際環境技術展」を開催します。

今年は、「加速するサーキュラービジネス。共創のギアが、未来を動かす。」をキャッチコピーに、130を超える企業・団体が出展。市内に立地する世界的テクノロジー企業から、日本アイ・ビー・エム株式会社の村田氏と富士通株式会社の西氏が登壇し、サーキュラーエコノミー※に関する豊富な知見を有する合同会社デロイトトーマツグループの松江氏がファシリテーターを務めるキーノートセッション、市内企業による共創の先進事例を紹介する特別セッション、さらに、今年度新たに、企業と自治体との連携機会を創出する企画など、多彩なプログラムを実施します。

昨年度は794件のビジネスマッチングが生まれており、今年度も環境技術を起点とした新たなビジネスや共創の創出を目指します。

また、同日には「川崎国際環境フォーラム2026」も開催します。

1 開催概要

- (1) 会 期 : 令和8年11月11日(水)・12日(木) 10:00～17:00
- (2) 場 所 : カルッツかわさき（川崎市川崎区富士見1-1-4）
- (3) 入 場 : 無料
- (4) 出展企業・団体 : 130者超（前回比10者増）

2 ブース出展・ビジネスマッチング

出展エリアには130者超の企業・団体がブースを出展します。

会場では、ビジネスマッチングを促す企画として、出展者の技術やサービスを紹介する出展者ピッチを実施するほか、マッチングシステムも利用いただけます。

また、出展者との面談が可能なマッチングブースを用意します。



3 企画紹介①キーノートセッション（メインステージ）

市内に立地する、日本アイ・ビー・エム株式会社の村田将輝氏、富士通株式会社の西恵一郎氏が登壇。経済同友会副代表幹事で、サーキュラーエコノミー※に関する豊富な知見を有する合同会社デロイトトーマツグループの松江英夫氏がファシリテーターを務め、「先端テクノロジーが拓くサーキュラーエコノミーの未来～共創による新たな価値創出～」をテーマにキーノートセッションを実施します。

※サーキュラーエコノミーとは、循環型経済という意味で、企業が取り組むことで、資源を無駄なく活用し、環境と企業利益を両立させ、持続可能な成長と競争力を高める経営戦略とすることができます。

！キーノートセッション

先端テクノロジーが拓く サーキュラーエコノミーの未来

～共創による新たな価値創出～

11月11日(水)
10:30～11:50

会場 メインステージ

IBM



日本アイ・ビー・エム株式会社
代表取締役社長
村田 将輝



合同会社デロイト トーマツ グループ
エグゼクティブメンバー
松江 英夫

FUJITSU



富士通株式会社
執行役員常務 CSO
西 恵一郎

4 企画紹介②特別セッション（メインステージ）

昨年度好評だった市内企業による共創の好事例紹介を紹介するセッションを今年度も実施します。アーティクル株式会社の加藤佑氏をファシリテーターに迎え、各企業等の担当者が、共創に至った経緯や、共創で生まれた事業などについて語ります。

日時：11月12日（木）10:30～12:00

テーマ： 地域企業が紡ぐ共創ストーリー

共創事例：

・CASE 1

藻類基点の社会を目指して ～資生堂とちとせが描く新しい未来

株式会社ちとせ研究所 × 株式会社資生堂

化石資源に代わる微細藻類由来の化粧品成分を共同開発。化粧品への実装を第一歩に、脱石油化社会に向けた新たな藻類産業の構築を目指す取り組みを御紹介します。

・CASE 2

衛星データ×川崎×真鶴の共創 農林水産領域への活用と未来

株式会社ゼンク × 株式会社 R0X × 真鶴町

衛星データ活用をきっかけに生まれた企業連携が、自治体との実証へ発展。共創のプロセスと、新たな価値創出や地域課題解決の可能性を探ります。

5 企画紹介③特別企画「CYCLE」（大会議室）

昨年度好評だった特別企画「CYCLE」を今年度も実施します。学生のサーキュラーエコノミーに関するアイデアをきっかけとした、ホスト企業と出展者及び来場者のビジネスマッチングを目指す新規事業創出プログラムです。ホスト企業の事業ニーズに対し、大学生などがアイデアを立案します。

特別企画【CYCLE】

ホスト企業×学生×共創パートナー
新規事業創出プログラム

11月12日(木) PM 会場 大会議室①・②

ホスト企業一覧

Loft
株式会社ロフト

space
株式会社スペース

メビウスパッケージング
メビウスパッケージング株式会社

ホスト企業と一緒に
学生アイデアの実現を
目指す企業を募集します!

詳しくはこちら



<https://www.kawasaki-eco-tech.jp/>

6 企画紹介④自治体連携企画（メインステージほか）【新規】

企業同士のビジネスマッチングに加え、企業と自治体との連携機会の創出を目指す「自治体連携企画」を新たに実施します。

川崎市や他自治体の先進的な環境施策をピッチやパネル展示等で紹介するとともに、自治体抱える環境に関する課題を共有します。出展者・来場者等が持つ技術やノウハウのマッチングを通じて課題解決や新たな連携創出を促します。

参加予定自治体：神奈川県横浜市、神奈川県相模原市、神奈川県小田原市、栃木県那須塩原市、栃木県宇都宮市、埼玉県 他

7 川崎国際環境技術展アンバサダー【新規】

次回、節目となる第20回を迎えることを見据え、技術展の情報発信を強化するため、「サーキュラーエコノミードット東京」編集長の熊坂仁美氏に、「川崎国際環境技術展アンバサダー」に就任いただき、技術展の魅力や出展者の取組を専門メディアの視点から発信していただきます。



株式会社
サーキュラーエコノミードット東京
メディア事業部 編集長
くまさか ひとみ
熊坂 仁美

8 来場者募集

本日（9月16日（水））から、来場者募集を開始します。
参加を希望方は公式サイトからお申込みください。

<https://www.kawasaki-eco-tech.jp/>



●川崎国際環境技術展とは

「川崎国際環境技術展」は、脱炭素社会の実現と持続可能な経済成長の両立に向け、企業等の新事業展開や販路開拓等につながるビジネスマッチング創出の場として、平成21年から毎年開催しています。

出展から会期後まで一貫したフォローアップ体制やマッチングを生み出すツールの提供、様々な企画やイベントなど質の高いビジネスマッチング等により、多くの成果を生み出しています。

昨年度の第18回では、ビジネスマッチング数794件に上り、出展者からのアンケート結果では約80%の出展者が「とても満足」「満足」と回答しています。

第18回開催結果

出展者数：120企業・団体（うち市内の中小企業は53企業・団体、初出展は34企業・団体）

来場者数：4,400名（2日間）

ビジネスマッチング数：794件

※昨年度の開催実績報告書は下記から御覧いただけます。

https://www.kawasaki-eco-tech.jp/18th/common/data/implementation_report2025.pdf



●【同時開催】川崎国際環境フォーラム2026

近年、気候変動による市民生活への影響が懸念される中、地域全体での対応が求められています。

本フォーラムでは、「気候変動対策がもたらす多様な価値」に着目し、気候変動に関する行動変容や社会実装の推進及び地域への展開について議論します。特別講演やパネルディスカッションを通じて、市民・企業・行政などの理解を深め、取組のきっかけとなることを目指します。

1 開催概要

- (1) 日 時 令和8年11月11日（水）10:10～12:10
- (2) 場 所 カルッツかわさき1階大会議室
- (3) 定 員 100名（入場無料、先着順）
- (4) 申込期間 9月16日（水）～11月10日（火）

2 テーマ

「～気候変動の影響から市民生活を守るには～ 気候変動からつながる健康で快適なまちづくり」

3 プログラム

(1) 第1部 特別講演

登壇者： マイケル デイヴィス 氏

ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）建築物理・環境学教授、英国気候変動委員会委員

上田 佳代 氏

北海道大学大学院医学研究院教授

(2) 第2部 パネルディスカッション

コーディネーター： 吉田 哲郎 氏

公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）都市タスクフォース主任研究員

※川崎国際環境フォーラム2026に参加を御希望の方はこちらからお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/FUQz/1749972>



問合せ先

(川崎国際環境技術展に関すること)

川崎市経済労働局イノベーション推進部 児島

電話 044-200-3213 (内線 28603)

(川崎国際環境フォーラムに関すること)

川崎市環境局環境総合研究所 土井

電話 044-276-9001 (内線 69302)